



日中の友好を深める

深圳小学との交流

11月6日(月)～9日(木)、野々市小学校と友好国際関係を締結している深圳小学(中国広東省)の児童18人が来市しました。両校は昭和60年に友好関係を結んで以来、相互に訪問を行っています。今回は御園小学校と菅原小学校も訪問を受けました。

野々市小学校で行われた歓迎式典では、児童を代表して6年生の境本歩さんが「これを機にますます仲が深まるようにしたい」と歓迎すると、深圳小学の姜宇軒さんジャンユンシェンが「見学・交流・勉強と一緒にするのが楽しみ。野々市や日本の美しい伝統文化を感じたい」と期待を寄せました。式典では両校の児童らが記念品の交換、合唱や演奏、ダンスなどを披露し、互いの文化を知る機会となりました。

各小学校との交流会は自己紹介に始まり、各クラスで考えたゲームや図画工作、給食などで交流を深め、初めは緊張していた児童らも言葉の壁を越えてすぐに仲良くなっていました。

また、深圳小学の児童は市内で水引き作りを体験し、その後は兼六園や金沢城なども訪れました。市内の児童宅に宿泊したホームステイ体験では、児童やその家族との交流を深め、4日間で日本の伝統や文化を学びました。



広報写真アルバム
2次元バーコード

